

昆虫の多様性 ～21世紀に新しく発見された新昆虫・  
カカトアルキとその生息地・ナマカランドの自然～



塩尻市立自然博物館

(協力：信州大学理学部生物科学科 東城幸治)

最も繁栄した生物群とされ、地球上の全ての動物種の 3/4以上も占める昆虫に、最近、新しい仲間が加わりました。2002年、ヨーロッパ・リトアニアから出土した、およそ 4,500 万年前にできた琥珀の中から、新たな昆虫が化石として発見されたのです。さらに、これとよく似た昆虫が、アフリカ大陸の南西端（南アフリカ共和国）の砂漠地域から発見され、この地域ではこの新昆虫が現在も活着していることが分かったのです。

この昆虫は、チョウやトンボ、バッタ、カマキリ、カブトムシやハチ..... など、これまでに知られているどんな昆虫とも違う、全く新しいグループの昆虫として発表されました。今世紀では初めての、なんと 88 年ぶりに新しい昆虫グループの誕生となったのです。

この昆虫は、これまでに知られている昆虫とは全く違った歩き方をするのです。その歩き方に因んで、「カカトアルキ」という名前が付けられました。英語でも、同じ意味の heel-walker という名前が付けられています。世界的にもたいへん珍しい、カカトアルキの標本や生態写真をパネル展示します。





また、このカクトアルキの故郷である南アフリカ・ナマカランドと呼ばれる砂漠地域には、とても変わった生き物たちが多く生息することが知られています。1年のうち約9ヶ月間は全く雨の降らない乾季となり、この期間は砂漠と化します。しかし、わずかに雨の降る一月ほどの間だけ、砂漠の中でどうにか生き延びることのできた植物が一斉に花を咲かせ、見事な、そしてとても幻想的なお花畑へと景観が一変するのです。この独特の気候のもとに成り立っているナマカランドの自然についても、そこで暮らす植物や動物の暮らしぶりとともに紹介します。

# 昆虫をとおして自然を観る

Learn about nature through insects!

美しい蝶をはじめとする  
昆虫のくらしぶり  
をとおして、  
命や  
自然を守ることの大切さ  
これからの地球環境を  
考えてみませんか。

## ■館内展示室

### ▼自然博物館全景



### ▼展示室の一部



### ▼地域の自然展示



### ▼展示の一部



## ■周辺地図



## ■交通

JR中央本線、塩尻駅からタクシーで7分  
長野自動車道、塩尻インターチェンジから車で2分

## ■利用案内

開館時間：午前9:00～午後5:00  
(ただし入館は午後4:30まで)

休館日：毎週月曜日・国民の祝日の翌日・年末年始  
(12月29日～1月3日)

## ■住所

長野県塩尻市塩尻町1090小坂田公園内 〒399-0712

■電話 0263-53-6342 (FAX兼用番号)

## Shiojiri City Museum of Natural History

### 塩尻市立 自然博物館



6月の高ルンチ高原  
The scene shows Takurunchi Heights in June.

塩尻市は日本列島のほぼ中央に位置し、  
太平洋と日本海に  
分水する山並みが連なり、  
東西南北の生き物たちの接点です。

Shiojiri is located in the central region of Japan  
main island, and in a beautiful environment  
with rich fauna and flora.

